



ぶら研「すんくじら」

令和6年度 志和池小 校長室からぶらっと研修 5 6月10日 文責 田爪



ポジティブ行動支援



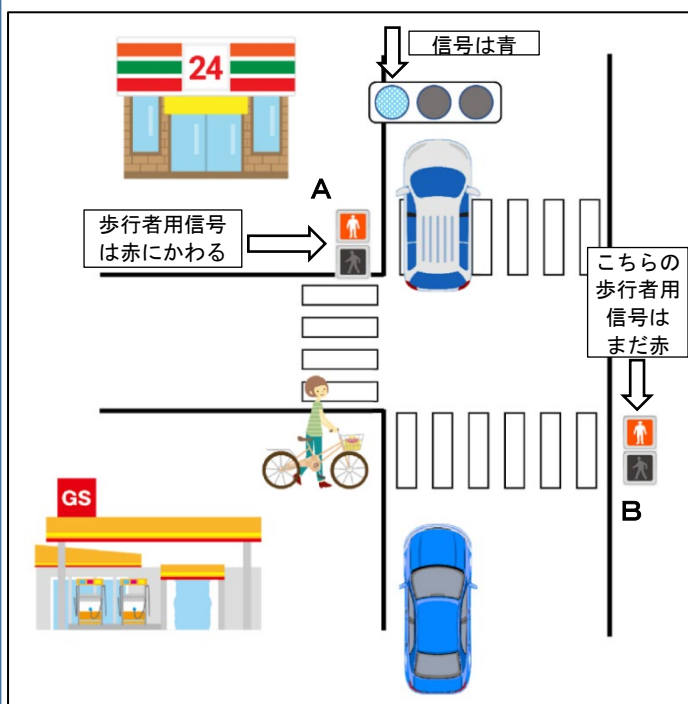
- ⑥ ポジティブ行動支援は人の「行動」に焦点を当てる！
 - ・問題の原因を変化させずらい個人の内側に求めてしまうと解決策を見いだせなくなる。
- ⑦ 「注意・指導」は次の「承認・賞賛」のチャンス！
 - ・「今回のようなとき、どのようなポジティブな行動が期待されているのか。」
- ⑧ ポジティブな支援・指導が行われやすくなる学級・学校のしくみをつくる！
 - ・教師が主体となってポジティブ行動支援に取り組み、ポジティブなスパイラルを生み出す。



主体的な学びに向けて

6の1の算数の授業。一人が、発表(説明)が終わったらすぐに勝手に話し始めています。きっかけは、「小数を分数にどうやって直すの？」という率直な疑問(質問)からです。ここから授業が大きく動きます。わからないことを「わからない」「どうして」と素直に言える雰囲気づくり。これもポジティブ行動支援のひとつと言えるでしょう。

このとき注意すべきこと



交差点を通過しようとしたところ、前の車が急にコンビニエンスストアの駐車場に入るため減速することがあります。

信号が変わりそうなときは、急いで通過しようとする、つい前の車との車間距離を詰めてしまいがちですが、こうした交差点の近くにある施設に入ろうとしたり、路地へ右左折しようとしたりする車の存在を予測しておき、いつでも停止できるように備えておくことが大切です。

交差点付近での車両事故のうち、追突事故が圧倒的に多いです。

さらにもう一つ！

自転車にも注意！ 自転車にとって反対側の信号Aが赤になったとたん、自分の信号Bが青になっていなくても慌てて渡ろうとする子どもがいることも想定する必要があります。